

平成 23 年 6 月 20 日
東京電力株式会社

福島第一原子力発電所緊急作業に伴う被ばく線量について

1. 外部被ばく線量

外部被ばく線量は日々の作業毎に個々人に貸与した個人線量計（APD）の指示値を合算したもので、現在 APD は福島第一原子力発電所の入口拠点となっている「ヴィレッジ」か、免震重要棟で貸し出してありますが、今回の集計は、両者の合計によるものです。

なお、今回の集計では、免震重要棟における滞在時の線量および福島第一原子力発電所への移動中の線量を加算していない（一部は加算をしている）ことから、今後これらを評価し加算する予定です。

2. 内部被ばく線量（一次評価）

体内に摂取した放射性物質は、時間と共に減衰し（半減期）、同時に新陳代謝で排出されていきます。このため、内部被ばく線量は、全身カウンタ（ホールボディカウンタ：WBC）で体内に残留する放射性物質を測定するとともに、摂取した時期をヒアリング等により特定し、体内残留量から、想定される摂取時期に体内摂取した放射性物質の量を推定することにより被ばく線量を評価します。内部被ばくを評価する場合は、体内摂取量から、50 年間に受けるであろう放射線による影響を全て合算して示します。

詳細な作業実績等に関するヒアリングを行うことができない場合、一律、作業開始日（当初から作業に携わった人は 3 月 12 日）に放射性物質を摂取したと推定して評価しているため、その場合は、最大の評価値を示すこととなります。

今後、有意な値を示した方については、ヒアリング調査等に基づく特定した摂取日を用いて再評価を行います。また、このうち、一次評価の値が比較的高い作業員については、独立行政法人日本原子力研究開発機構殿での詳細な WBC 測定も実施することとしています。

なお、今回のデータは 3 月中に作業を行った方のうち、6 月 18 日までに WBC を受検された方の一次評価のデータを示しています。

3. 外部被ばく線量と内部被ばく線量（一次評価）合算値

3 月中に緊急作業に従事した方のうち、内部被ばく評価が終了した方について、外部被ばく線量と内部被ばく線量（一次評価）の合算値を示します。

なお、職員については、線量評価値が 200mSv を超えた場合、福島第一原子力発電所での業務から離れることとしており、詳細測定前の一次評価値で、200mSv を超える場合も、詳細評価が終了するまでの間は、同様に福島第一原子力発

電所を離れることとします。

4. 線量管理・集計の対象について

福島第一原子力発電所の緊急作業においては、福島第一原子力発電所構内及び近傍で作業した者を放射線業務従事者の個人被ばく線量管理の対象範囲としていることから、外部被ばく線量の集計、内部被ばく線量評価についても、上記同様のエリアを対象としています。

なお、発電所から20km圏内の上記以外のエリアで作業した者（送電関係等）についても、作業中に放射線を受ける可能性があるため、Jビレッジから線量計を装着して作業を行い、個人別の放射線量記録を管理しておりますが、内部被ばく線量測定・評価の実施は任意としています。

- ・添付資料：「外部被ばく線量・内部被ばく線量（一次評価）の分布等」

以 上